

婆羅洲（ボルネオ）研究資料・上

華僑所在地のうち、特にボルネオ／カリマンタン島に関わる中文・外国語資料（中訳）を収録。上巻は幻の華僑国家“蘭芳公司”の人物伝と、風土・社会・産業に関する総合的な華人・西洋人の著作・報告書が中心。

主な収録書籍（収録順）：呉宗焯等『羅芳伯伝』（1898）、張煜南『海国咏事詩—婆羅洲』（1898）、李長傳『秘密会党之伝布海外及其殖民事業之建設』（1936、『中国殖民史』より）、義皇正胤『南洋華僑史略』（1910）、梁啓超『中国殖民八大偉人伝』（1941）、韓特（J.Hunt）『婆羅洲概況』、赫里斯『航行総滙』、皮加費達（Antonio Pigafetta）『第一次環球航行』、拉德馬赫（Radermacher）『迄今為止已知的婆羅洲島描述』、袁冰凌『婆羅洲の中国人』 etc.

全35冊・2箱

揃定価1,531,200円（揃本体1,392,000＋税10%）刊行年月：2023年5月 ISBN978-4-8350-5275-5



婆羅洲（ボルネオ）研究資料・中

中巻では島全体の他、島東・島南・島西の地域別の外国語史料（中訳）を収録。

主な収録書籍（収録順）：厄尔文『十九世紀的婆羅洲』、西奥多・波塞維茨、蒂瓦達爾・波塞維茨（Theodor Posewitz, Tivadar Posewitz）『婆羅洲：其地質和砵産資源』、『1819年欧洲殖民者与婆羅洲の関系』、斯坦福・莱佛士（Stamford Raffles）『爪哇史』（1817）、魯葆如『荷印華僑經濟志』、英国外交部『荷属婆羅洲手冊』、竹林勲雄『荷属印度的華僑』（1940）、范勒丁『荷属西婆羅洲金砵』、威勒（Willer）『南吧哇与坤甸志略』、E. B. Kielstra『婆羅洲西部地区歴史的投稿』 etc.

全32冊・2箱

揃定価1,372,800円（揃本体1,248,000＋税10%）刊行年月：2023年5月 ISBN978-4-8350-5276-2



婆羅洲（ボルネオ）研究資料・下

下巻は島北地域の史料を収録。

主な収録書籍（収録順）：丘守愚『英属馬來緬甸婆羅洲』（1934）、蘇鴻賓『英属馬來亜及婆羅洲』、約瑟夫・哈頓（Joseph Hatton）『“新錫蘭”：是英属北婆羅洲の素描』、英国北婆羅洲特許公司『英属北婆羅洲手冊』、弗雷德・威廉・福克斯沃西（Fred William Foxworthy）『英属北婆羅洲の木材：小型森林產品和叢林產品』、『印度、錫蘭、海峡殖民地、英属北婆羅洲、香港』、亨利・林・羅斯、休・布魯克・洛（Henry Ling Roth, Hugh Brooke Low）『砂拉越和英属北婆羅洲の原住民』、沙撈越博物館『砂拉越博物館報告』、『砂拉越政府公報』 etc.

全31冊・2箱

揃定価1,337,600円（揃本体1,216,000＋税10%）刊行年月：2023年5月 ISBN978-4-8350-5277-9



番線印	東南亞歴史文献叢刊—近現代南洋華僑華人研究			張繼焦 陳傑 主編 発行：蝠池書院	
条件：注文扱・返条付	ご注文☐		冊数・分量	本体揃価格	ISBN
		総論	全44冊・2箱	1,728,000円＋税	978-4-8350-5269-4
		南洋期刊	全16冊・1箱	624,000円＋税	978-4-8350-5270-0
		南洋華僑歴史与現状	全26冊・2箱	1,024,000円＋税	978-4-8350-5271-7
		南洋各国歴史与現状	全35冊・2箱	1,392,000円＋税	978-4-8350-5272-4
		華僑革命与華僑教育	全24冊・2箱	960,000円＋税	978-4-8350-5273-1
		華僑經濟、華僑人物及其他	全25冊・2箱	992,000円＋税	978-4-8350-5274-8
		婆羅洲（ボルネオ）研究資料・上	全35冊・2箱	1,392,000円＋税	978-4-8350-5275-5
		婆羅洲（ボルネオ）研究資料・中	全32冊・2箱	1,248,000円＋税	978-4-8350-5276-2
		婆羅洲（ボルネオ）研究資料・下	全31冊・2箱	1,216,000円＋税	978-4-8350-5277-9
販売取扱：不二出版株式会社 TEL：03-5981-6704 FAX：03-5981-6705 email：administrator@fujishuppan.co.jp					

蝠池書院刊『東南亞歴史文献叢刊—近現代南洋華僑華人研究』 不二出版 取扱販売のご案内



主編 張繼焦（中国社会科学院大学教授）

B5判・上製・各冊300～500頁

陳傑（中国社会科学院民族学与人類学研究所文献資訊中心主任）

華僑の移住は明代にはじまるといわれている。とりわけ東南アジア・インド洋・アフリカ沿岸を巡った「鄭和の大航海」を契機として、多くの中国人がこの地域に進出し、現地の經濟を握る存在として政・経両面に影響力を振るった。本資料集は中国から“南洋”と呼ばれた東南アジアにおける華僑に関わる清代から民国期の様々な歴史的資料を洋の東西を問わず網羅した決定版ともいえる資料集である。



★商品はすべて中国より取寄となります。

納品まで1ヵ月程度お時間を頂戴いたします。

販売代理店：不二出版株式会社

〒112-0005 東京都文京区水道2-10-10

TEL：03-5981-6704 FAX：03-5981-6705

eMail：administrator@fujishuppan.co.jp



資料概要

東南アジアはインドシナ半島とマレー諸島から成り、11か国を含む重要な地域である。特にインドネシアは世界第4位の人口を持ち、東南アジア全体が経済発展の活力に満ちている。中国と地理的・歴史的に密接な関係を持ち、「一帯一路」戦略の進展により両者の結びつきはさらに強化されるだろう。

中国人の東南アジアへの移住は秦漢時代に始まり、清代には大規模な移民が進んだ。彼らは経済活動に従事しながら祖国を想い、孫中山の革命を支援し辛亥革命に貢献した。また、抗日戦争時には人的・物的支援を行い、中国の勝利に大きく寄与した。

改革開放後、華僑・華人は祖国の経済建設を支援し続け、中国政府も彼らを「中華民族の一部」と見なし、その絆を強調している。現代の国際情勢の中で、東南アジアの戦略的重要性はさらに高まり、新たな問題や課題が生じているため、同地域の歴史研究の深化が求められている。

歴史を振り返ると、東南アジアの華僑華人は近代中国の発展や現代中国の経済建設に重要な役割を果たした。そこで、関連する歴史文献を整理し、500種以上の図書や定期刊行物を収集・分類し、「南洋総論」「華僑革命と華僑教育」「華僑経済」など7つのカテゴリで出版した。

民国時代、華僑の辛亥革命や祖国建設への貢献が活発となったことで、華僑について多くの研究がなされた。例えば、張永福『南洋与創立民国』、馮自由『華僑革命史話』などが、華僑と辛亥革命の関係を論じている。また、華僑史研究として、温雄飛『南洋華僑通史』（1929）、劉継宣・束世澄『中華民族拓殖南洋史』（1934）、李長傳『中国殖民史』（1936）、王任叔『印尼社会発展概観』（1948）などが、東南アジア華僑華人研究の理論的基礎を築いた。経済面では、華僑為替や資本、経済貿易の往来を示す『檳榔嶼開辟史』『馬來半島商業録』『菲律賓糖業考察記』『華僑投資広東実業要覧』などが注目された。また、華僑は海外でも教育を重視し、『華僑教育論文集』、『菲律賓華僑教育考察団日記』『南洋各属之教育制度』『荷印華僑教育鑑』などが、華僑教育の状況や課題を示している。

総論

本書の前提となる東南アジア地域の、清末から第二次大戦後までの歴史書、地理書、基本統計資料を収録。

主な収録書籍（収録順）：夏思痛『南洋』（1913）、夏清馥『南洋風伝』（1903）、李崇厚『大南洋論』（1934）、邱致中『南洋概況』（1937）、李長傳『南洋史綱要』（1938）、何爾玉・蕭友玉『南洋群島一瞥』（1939）、陳寿彭『南洋与東南洋群島志略』（1946）、越南阮朝『大南一統志』（1906重修）、張礼千『中南半島』（1947）、宋蘊璞『南洋英属海峡殖民地志略』（1930）、李長傳『南洋地理』（1940）、陳序経『南洋与中国』（1948）、井上清『南洋と日本』（1913、1914訳） etc.

全44冊・2箱
揃定価 1,900,800円（揃本体 1,728,000＋税10％）刊行年月：2022年 8 月 ISBN978-4-8350-5269-4



南洋期刊（雑誌刊行物）

南洋（シンガポール、タイ、ミャンマー、インドネシア等）在住の華僑・華人、研究機関（暨南学校）、団体（南洋学会等）が刊行した定期刊行物を収録。

収録書籍（収録順）：『華僑叢刊』（1923－）、『中央僑務月刊』（1928－）、『中国与南洋』（1918－）、『南洋華僑雑誌』（1917－）、『南洋評論』（1923－）、『南洋時事彙刊』（1921－）、『南洋文化』（1940）、『南洋風』、『南洋学報』、『南洋中華彙業総会年刊』（1947）、『仰光日報六周年紀念特刊』『第七周年紀念特刊』『第八周年紀念号』、『暹京華僑日報社新館落成特刊』、『三山季刊』、『星洲日報的先声』、『星洲日報二周年紀念刊』『四周年紀念刊』

全16冊・1箱
揃定価 686,400円（揃本体 624,000＋税10％）刊行年月：2023年 3 月 ISBN978-4-8350-5270-0



南洋華僑歴史与現状

中国人の海外渡航と華僑の誕生に関わる諸史料、中華民国僑務委員会の史料、現地互助組織の史料などを収録。

主な収録書籍（収録順）：黄澤蒼『華僑現勢』（1934）、劉士木『華僑参政権全案』（1913）、李長傳『華僑』（1929）、陳起森『華僑宝鑑』（1925）、張礼千著・劉士木編『華僑与文化』（1940）、劉伯周『海外華僑発展史概論』（1935）、劉継宣・束世澂『中華民族拓殖南洋史』（1934）、温雄飛『南洋華僑通史』（1929）、姚梅『中南半島華僑史綱要』（1945）、劉士木『日本海外侵略与華僑』（1931）、顧公任『泰国与華僑』（1941）、姚梅『馬來亜華僑史綱要』（1943）、章進『新菲律濱与華僑』（1936）、陳嘉庚『南僑回憶録』（1946） etc.

全26冊・2箱
揃定価 1,126,400円（揃本体 1,024,000＋税10％）刊行年月：2023年 3 月 ISBN978-4-8350-5271-7



南洋各国歴史与現状

華僑在住国（インドシナ諸国、インドネシア、フィリピン）についての歴史・社会・風土・地理に関わる史料を収録。

主な収録書籍（収録順）：黄澤蒼『緬甸』（1931）、周匯瀟『暹羅之物産』（1936）、黄澤蒼『越南』（1934）、Andrew.Roth著・移模訳『新越南』（1948）、黄雄略『柬埔寨志略』（1947）、劉虎如『荷属南洋史地補充読本』（1927）、黄澤蒼『荷属馬來西亜』（1930）、張礼千『英属馬來亜地理』（1938）、姚梅・張礼千『檳榔嶼志略』（1947）、李鍾珏『新加坡風土記』（1887）、沈鉄崖『蘭領東印度史』（1924）、陳以益『爪哇鴻爪』（1924）、李長傳『菲律賓史』（1936）、黎猷仁『菲律賓糖業考察記』（1934）、崇昭本西著・呉超訳『比律賓志士独立伝』（1902） etc.

全35冊・2箱
揃定価 1,531,200円（揃本体 1,392,000＋税10％）刊行年月：2023年 3 月 ISBN978-4-8350-5272-4



華僑革命与華僑教育

中国革命における南洋華僑が果たした役割に関する史料と、華僑在住国の教育制度、華僑教育の実情に関する史料、当時の教科書等を収録。

主な収録書籍（収録順）：陳宗山『南洋華僑革命史略』（1930）、教育部民衆読物編審委員会『抗戦中の華僑動員』（1938）、『大戦与南僑一馬來亜之部』（1947）、許唯心『華僑殉難義烈史（峇株之部）』（1947）、劉士木・錢鶴、李則綱『華僑教育論文集』（1929）、呉体仁『南洋各属之教育制度』（1939）、顔文初・余柏昭・劉春澤『菲律賓華僑教育考察団日記』（1922）、『荷印華僑教育鑑』（1928）、陳宝泉『考察日本斐律賓教育団紀実』（1917）、洪鑒等『南洋華僑歴史課本教授書』（1932） etc.

全24冊・2箱
揃定価 1,056,000円（揃本体 960,000＋税10％）刊行年月：2023年 3 月 ISBN978-4-8350-5273-1



華僑経済、華僑人物及其他

華僑に関わる経済活動の各国統計や税制についての史料と、華僑人物伝、旅行記、報告書、エッセイ等を収録。

主な収録書籍（収録順）：暹羅中華総商会『華商』（1947）、広東省政府粵僑事業輔導委員会『華僑投資広東実業要覧』（1947）、『馬來半島商業録』、姚梅『馬來亜華僑経済概況』、蔡大訓『菲律濱華僑簿記与税律』（1932）、丘守愚『東印度与華僑経済発展史』（1937）、林博愛 等『南洋名人集伝』（1923）、『南洋華僑殖民偉人伝』（1928）、鄭鶴声『鄭和遺事滙編』（1947）、陳嘉庚『陳嘉庚言論集』（1949）、林奄方『中華南部及南洋園芸視察談』（1930）、譚俚夫『南洋埠名』（1923）、侯鴻鑑『南洋旅行記』（1920）、蔣震華『日本之南洋委托治理地』（1934）、関楚璞等『星洲十年』（1939） etc.

全25冊・2箱
揃定価 1,091,200円（揃本体 992,000＋税10％）刊行年月：2023年 3 月 ISBN978-4-8350-5274-8

